

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/10/17

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	38.33	0.32
JPY/THB	0.2577	-0.0006
USD/JPY	148.67	1.55
EUR/THB	37.27	0.10
EUR/USD	0.9722	-0.0054
USD/CNH	7.220	0.043
SGD/THB	26.87	0.30
AUD/THB	23.77	-0.17
USD/INR	82.34	-0.01
USD Index	113.31	0.95

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.692	0.000
10Y (THB)	3.198	0.000
5Y (USD)	4.268	0.067
10Y (USD)	4.018	0.075

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,641.7	-28.3
WTI (Oil)	85.61	-3.5
Copper	7,538.5	-34.5

Stock

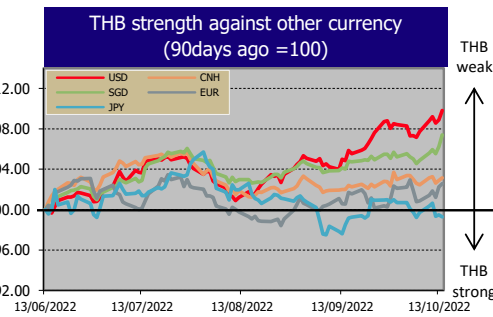
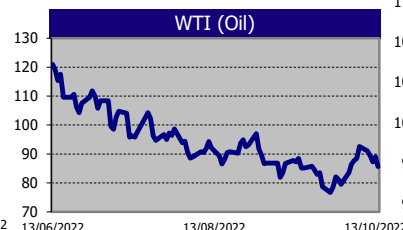
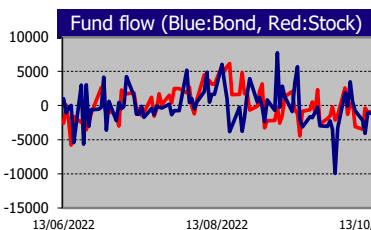
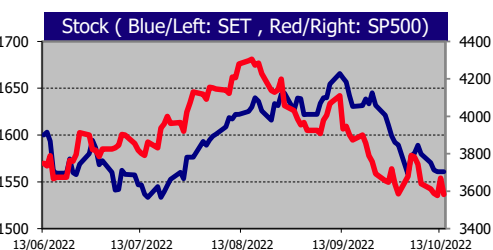
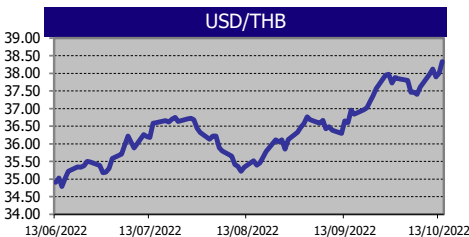
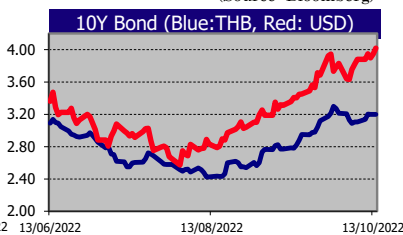
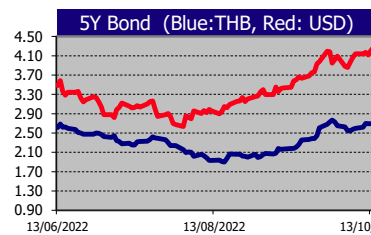
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,560.78	0.00
NIKKEI (JP)	27,090.76	853.34
DOW (US)	29,634.83	-403.89
S&P500 (US)	3,583.07	-86.84
SHCOMP (CN)	3,071.99	55.63
DAX(GER)	12,437.81	82.23

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(932)	0.0
Bond net flow	(1,107)	0.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

12日のドルパーツは38パーツ前半で取引を開始し、朝方に上昇した後はタイ9月産業景況観測調査が32カ月ぶり高水準を示したことや、人民元の対ドル相場の堅調地合いを受けて38パーツ付近へと下落。海外時間、9月FOMC議事録で新たな手掛かりが無ドル売りが入ると37パーツ後半へ。13・14日とタイ市場が休場となったが、13日夜間には強い米CPIが発表されて38パーツ前半へジャンプし、同13日NY時間終盤に調整が入ったものの底堅く推移。14日は発表された米経済指標で1年先や5年先のインフレ期待が上昇する結果となり、ドルパーツはNY時間引けにかけて高止まりし、38.33で終えた。

●ドル円その他

12日のドル円は145円後半で取引を開始。上値トライの動きから146円台へ上昇し、海外時間では、黒田日銀総裁の金融緩和を継続する旨の発言が材料視されて146円後半へ上昇。13日は146円後半で取引を開始したが、アジア時間は米9月CPIの発表を控えていたために横ばい。米9月CPIが発表されてコア共に予想を上回る強い結果となると、ドル高、米金利上昇で反応し一時147円半ばへ上昇。その後は介入警戒感から146円に戻す等ボラタイルな展開となり、147円前半で引けた。14日は147円前半でオープンし、黒田日銀総裁ら要人から円安牽制発言があったが、市場は反応薄く堅調に推移。海外時間では、発表されたミシガン大消費者信頼感指数において将来の期待インフレ率の上昇が確認されたことでドル買いが加速。一時148円後半まで上昇し、148.67と大きく円安に振れて引けた。

Bangkok Dealer's Eye

先週12日のタイのオンショア市場クローズ後に発表された米経済指標や9月FOMC議事録は当面のドルパーツの底堅さを予想させるものだったと思います。時系列で見ていくと9月FOMC議事録では目新しい材料こそありませんでしたが、インフレ引き下げに向けて一段と金融引き締めスタンスをとる必要があるとの見解でメンバーが一致していたことが分かりました。ただし、複数人はスタンスを引き締めるにもペースは調整の余地があるべきとの考えを持っていることも分かっています。また、米9月CPIやミシガン大消費者信頼感指数では引き続き強いインフレ圧力が残存していることや家計部門の期待インフレ率が上昇していることが確認されているために、11月のFOMCではメインシナリオでこそありませんが、1%の利上げを見ている市場予想もあります。加えて年末までに以前パウエル議長が示した1.00-1.25%ではなく1.25-1.50%の追加利上げを予想している、年内金利着地点の引き上げが見込まれている状況です。今週末からは11月3日のFOMCを前にブラックアウト期間入りすることになるため、当局者発言による市場の反応に一層注意したいと思います。(鈴木)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.